

漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査

福井県地域検討会報告書(案)

第 章 資料編

目 次

第 章 資料編

1. 調査の概要	1
1.1 地点別・季節別の変化(量)	1
1.2 地点ごとの集計結果	5
(1) 地点1	5
(2) 地点2	8
(3) 地点3	11
(4) 地点4	14
(5) 地点5	17
(6) 地点6	20

第 章 福井県坂井市地域における調査結果

1. 調査の概要

1.1 地点別・季節別の変化（量）

第 1 回クリーンアップ調査結果は今までに蓄積した漂着ゴミの累計であるが、第 2～6 回クリーンアップ調査結果は、前回のクリーンアップ調査終了時から当該回のクリーンアップ調査時まで新たに漂着したゴミであると考えられる。第 1～6 回クリーンアップ調査において回収した漂着ゴミの重量(kg/100 m²)を図 1.1-1 に、容量(L/100 m²)を図 1.1-2 に示す。

地点 1(験潮所)、地点 2(水族館)、地点 4(ナホトカの碑東側)では冬明けの第 4 回目(2008 年 4 月)が最も多かった。地点 5(福良の浜)は第 2 回目(2007 年 12 月)、地点 3(二の浜)及び地点 6(製塩所廃跡)は第 6 回目(2008 年 9 月)が最も多くなった。なお、第 3 回目の調査は荒天のため実施していない。

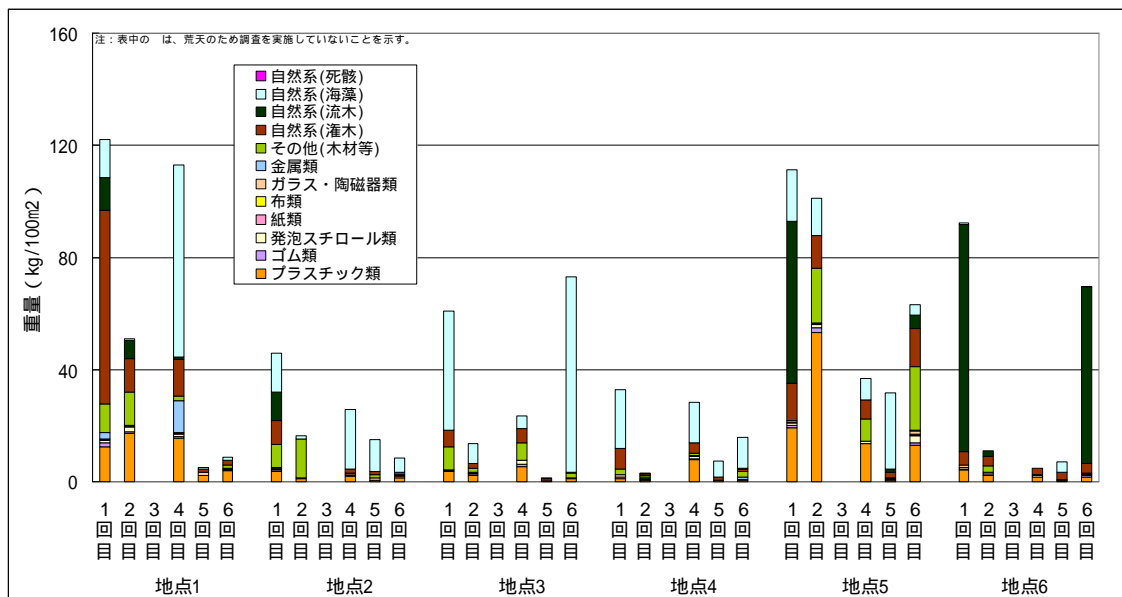


図 1.1-1 共通調査において回収したゴミ重量（第 1～6 回）

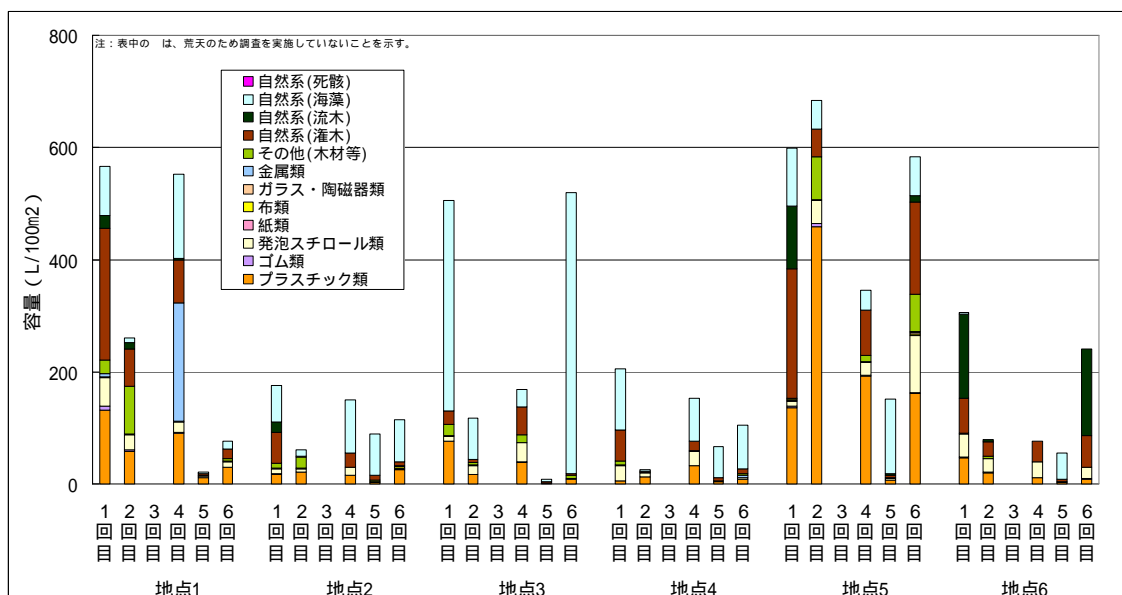


図 1.1-2 共通調査において回収したゴミ容量（第 1～6 回）

また、海藻を除いた漂着ゴミの重量 (kg/100 m²) を図 1.1-3 に、容量 (L/100 m²) を図 1.1-4 に示す。

地点 3、4 は冬明けの第 4 回目 (2008 年 4 月) が最も多かったが、地点 1、2、5、6 は第 2 回目調査 (2007 年 12 月) が最も多くなった。

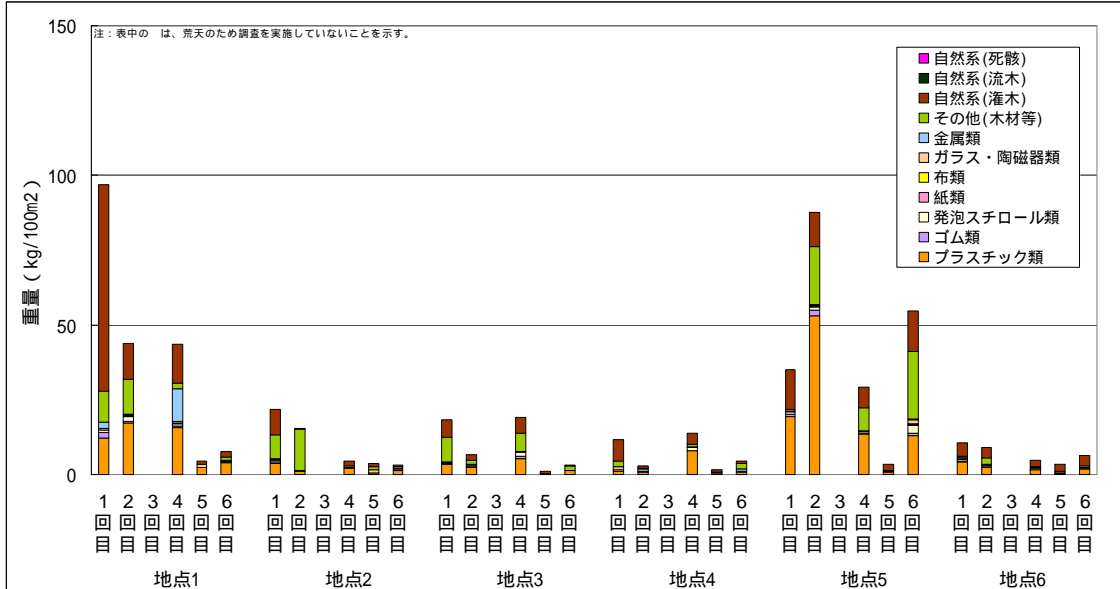


図 1.1-3 共通調査において回収したゴミ重量 (第 1~6 回 : 海藻を除く)

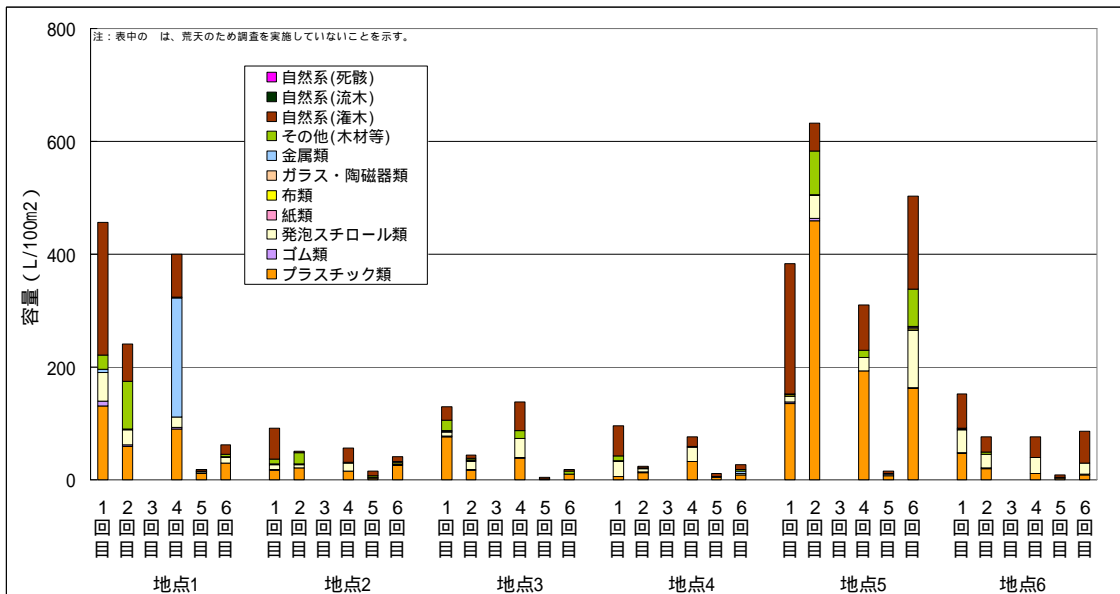


図 1.1-4 共通調査において回収したゴミ容量 (第 1~6 回 : 海藻を除く)

更に、海藻以外に、自然系である流木・灌木を除いた漂着ゴミの重量 (kg/100 m²) を図 1.1-5 に、容量 (L/100 m²) を図 1.1-6 に示す。

地点 3、4 は冬明けの第 4 回目調査 (2008 年 4 月) が最も多かったが、地点 1、2、5、6 は第 2 回目調査 (2007 年 12 月) が最も多くなった。

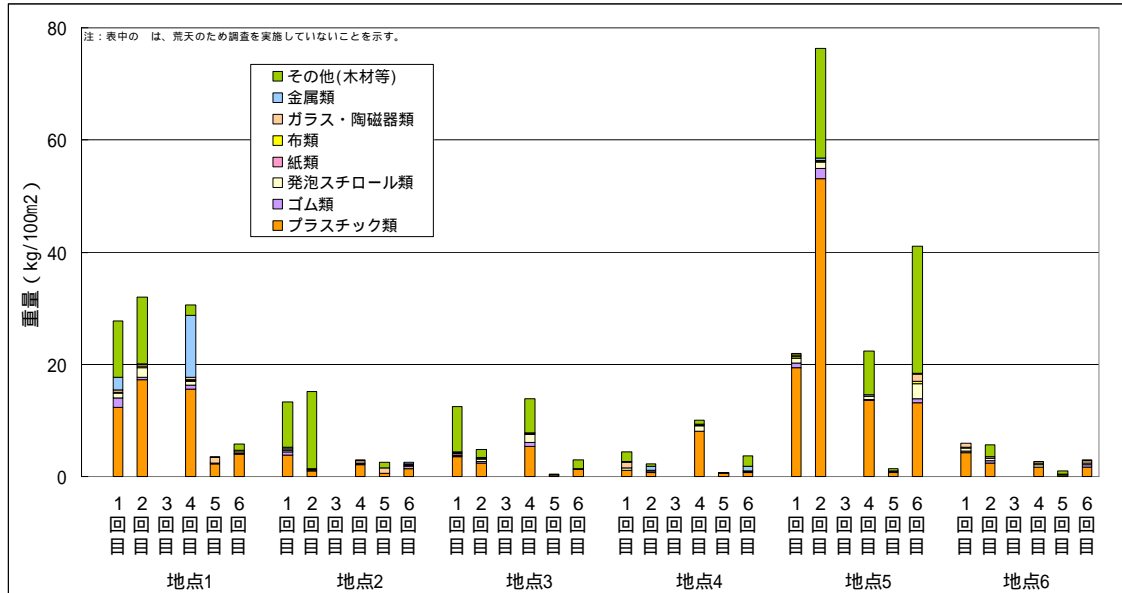


図 1.1-5 共通調査において回収したゴミ重量 (第 1~6 回：海藻、流木・灌木を除く)

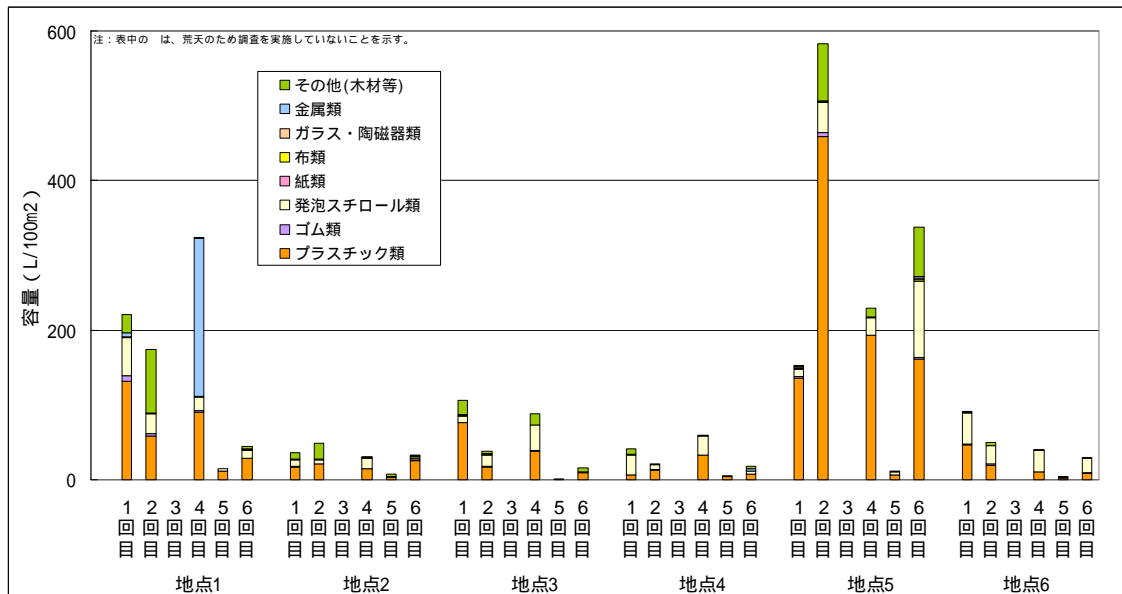


図 1.1-6 共通調査において回収したゴミ容量 (第 1~6 回：海藻、流木・灌木を除く)

さらに漂着ゴミの個数(個/100 m²)を図 1.1-7 に示す。海藻、灌木は個数を計数できな
いたため人工物のみの個数で表現した。

地点1、3、4 は冬明けの第4回目調査(2008年4月)が最も多かったが、地点2は第5
回目(2008年5月末)、地点5、6は第2回目調査(2007年12月)が最も多くなった。

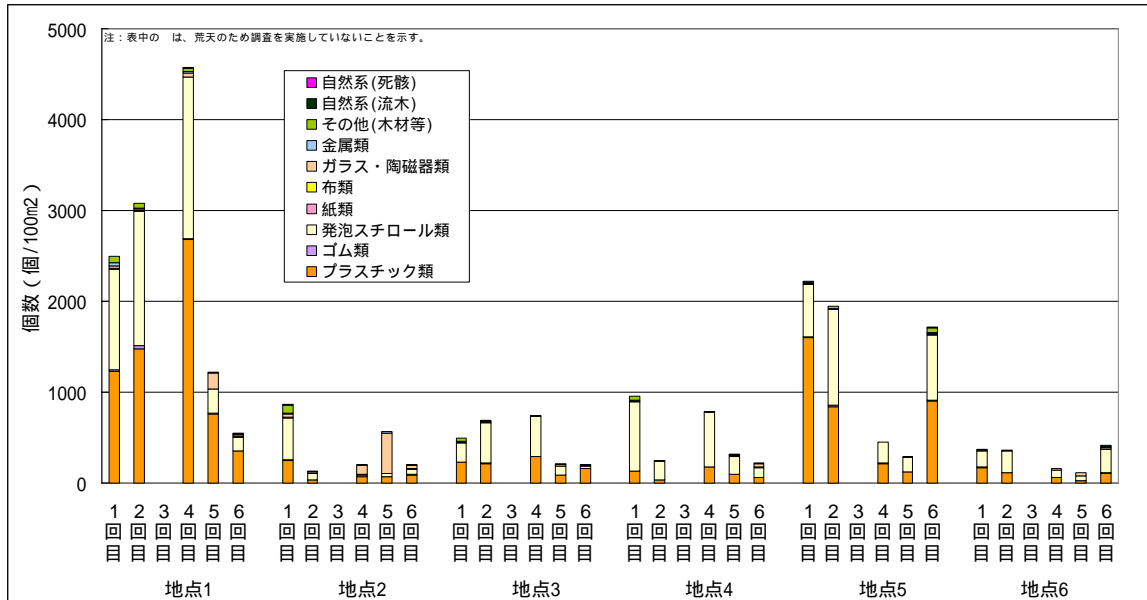


図 1.1-7 共通調査において回収したゴミ個数(第1~6回)

1.2 地点ごとの集計結果

(1) 地点1

第2～6回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとの枠内重量比率および容量比率を図1.2-1、図1.2-2に示す。

当海岸（地点1）は、第2回目（2007年12月）には海藻が少ないが、第4回目（2008年4月）第5回目（2008年6月）には海藻が多くなった。

次に、海藻は通常、地元でも回収はされていないため、海藻を除いた漂着ゴミで比較を行った。第2～6回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとのうち、海藻を除いた枠内重量比率および容量比率を図1.2-1、図1.2-2に示す。

当海岸（地点1）は、プラスチック類の占める割合が第2回目（2007年12月）重量比率では約1/3、第4回目（2008年4月）でも約1/3、第5回目（2008年6月）では約半分となった。また、流木・灌木が約1/3から1/4漂着するのも特徴であった。

更に、自然系である流木・灌木も大量に漂着する、いわゆる災害時以外は回収されていないため、海藻以外に流木・灌木を除いた漂着ゴミ（人工物）で比較を行った。第2～6回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとのうち、人工物の枠内重量比率および容量比率を図1.2-1、図1.2-2に示す。

当海岸（地点1）は、プラスチック類の占める割合が第2回目（2007年12月）重量比率では約1/3、第4回目（2008年4月）でも約1/3、第5回目（2008年6月）では約半分となった。また、流木・灌木が約1/3から1/4漂着するのも特徴であった。

	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合計(第2~6回)
集計重量 (全量)						
集計重量 (海藻を除く)						
集計重量 (流木・灌木、海藻を除く)						

凡例

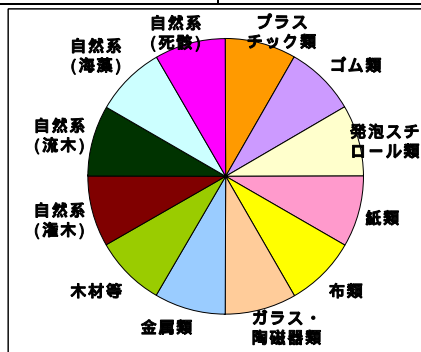


図 1.2-1 重量比率 (地点1)

	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合計(第2~6回)
集計容量 (全量)						
集計容量 (海藻を除く)						
集計容量 (流木・灌木、 海藻を除く)						

凡例

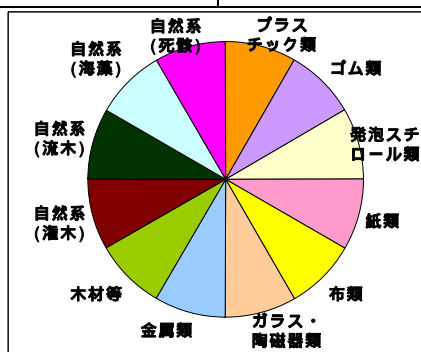


図 1.2-2 容量比率(地点1)

(2) 地点 2

第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとの枠内重量比率および容量比率を図 1.2-3、図 1.2-4 に示す。

当海岸（地点 2）は、第 2 回目（2007 年 12 月）には海藻が少ないが、第 4 回目（2008 年 4 月）、第 5 回目（2008 年 6 月）には海藻が多くなった。

次に、地点 1 と同様の理由で海藻を除いた漂着ゴミで比較を行った。第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとのうち、海藻を除いた枠内重量比率および容量比率を図 1.2-3、図 1.2-4 に示す。

当海岸（地点 2）は、重量から見るとプラスチック類、その他の人工物、ガラス・陶磁器類の占める割合が調査ごとに変化をしているが、容量からみると、プラスチック類が約 1/3 から約 1/4 を占めている。また、第 4 回目（2008 年 4 月）は、発泡スチロール類が約 1/4 を占めた。

更に、自然系である流木・灌木も大量に漂着する、いわゆる災害時以外は回収されていないため、海藻以外に流木・灌木を除いた漂着ゴミ（人工物）で比較を行った。第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとのうち、人工物の枠内重量比率および容量比率を図 1.2-3、図 1.2-4 に示す。

	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合計(第2~6回)
集計重量 (全量)						
集計重量 (海藻を除く)						
集計重量 (流木・灌木、海藻を除く)						

凡例

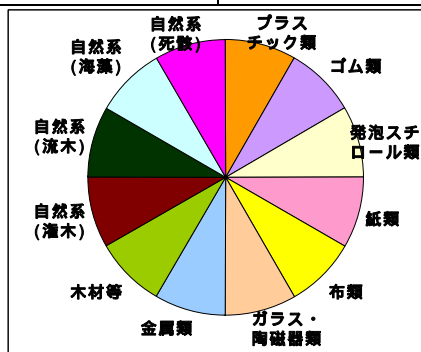
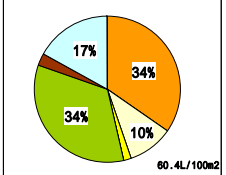
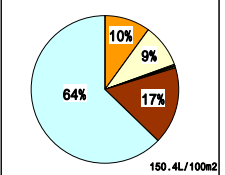
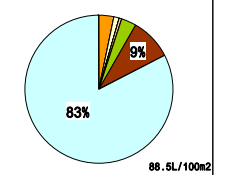
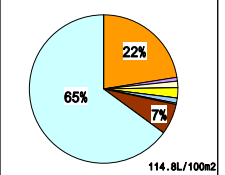
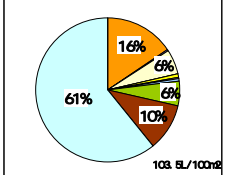
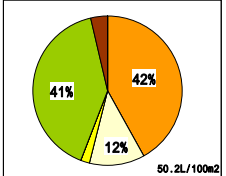
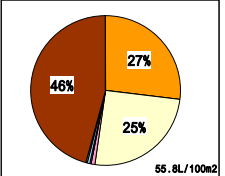
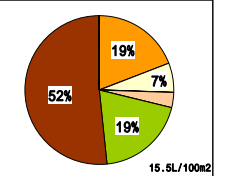
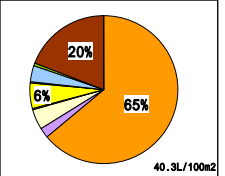
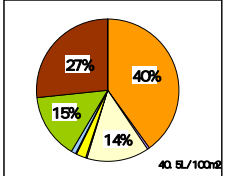
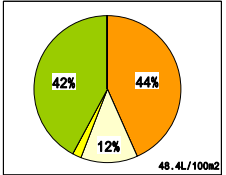
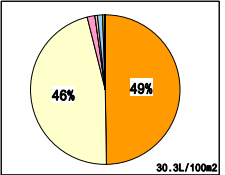
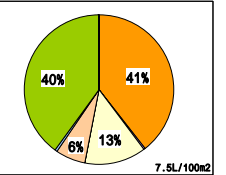
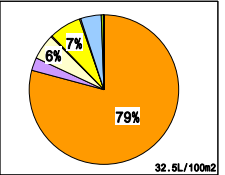
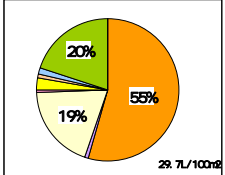


図 1.2-3 重量比率 (地点 2)

	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合計(第2~6回)
集計容量 (全量)						
集計容量 (海藻を除く)						
集計容量 (流木・灌木、 海藻を除く)						

凡例

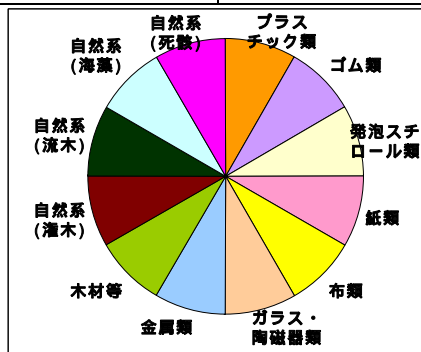


図 1.2-4 容量比率(地点2)

(3) 地点 3

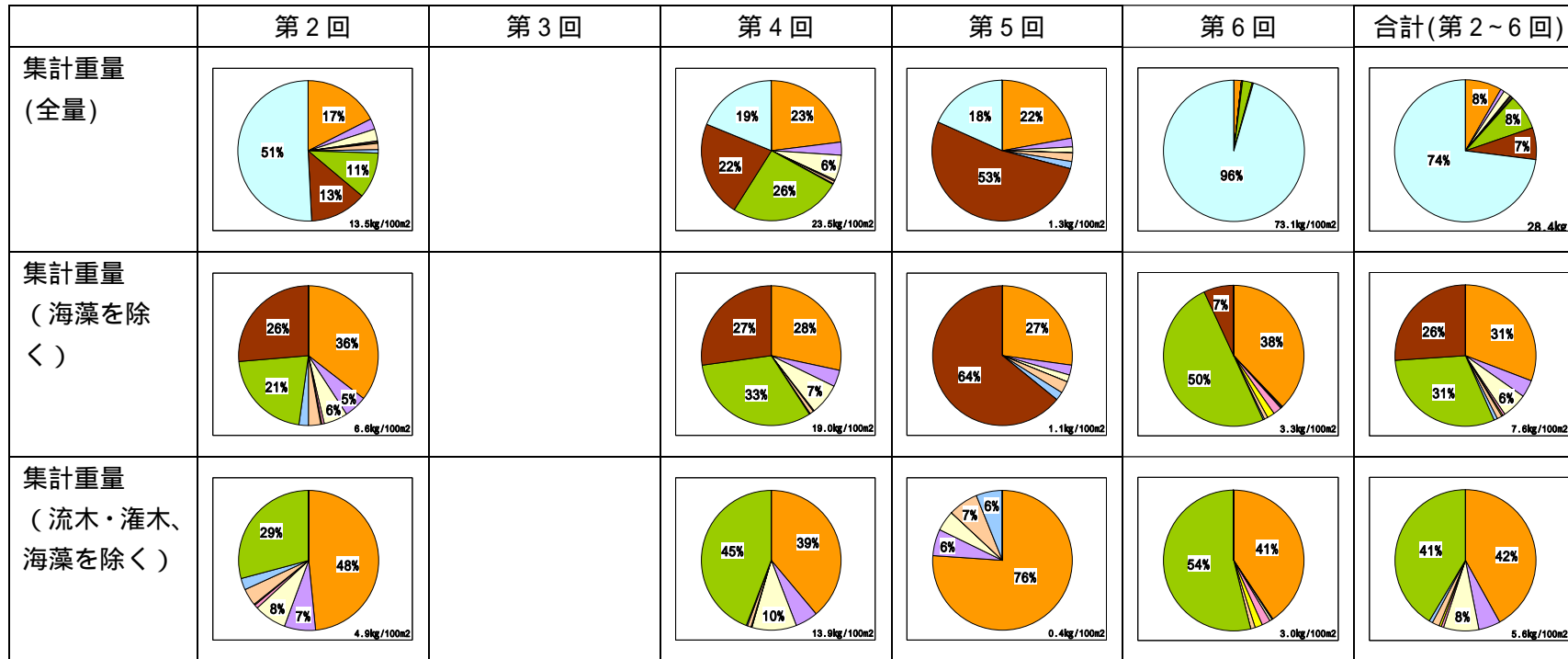
第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとの枠内重量比率および容量比率を図 1.2-5、図 1.2-6 に示す。

当海岸（地点 3）は、各回とも海藻や流木・灌木の割合が高くなった。

次に、海藻は通常、地元でも回収はされていないため、海藻を除いた漂着ゴミで比較を行った。第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとのうち、海藻を除いた枠内重量比率および容量比率を図 1.2-5、図 1.2-6 に示す。

当海岸（地点 3）は、第 2 回目（2007 年 12 月）および第 4 回目（2008 年 4 月）において重量から見るとプラスチック類やその他の人工物が占める割合が高い。第 4 回目（2008 年 4 月）および第 5 回目（2008 年 6 月）における容量では、発泡スチロール類の占める割合が高くなった。

更に、自然系である流木・灌木も大量に漂着する、いわゆる災害時以外は回収されていないため、海藻以外に流木・灌木を除いた漂着ゴミ（人工物）で比較を行った。第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとのうち、人工物の枠内重量比率および容量比率を図 1.2-5、図 1.2-6 に示す。



凡例

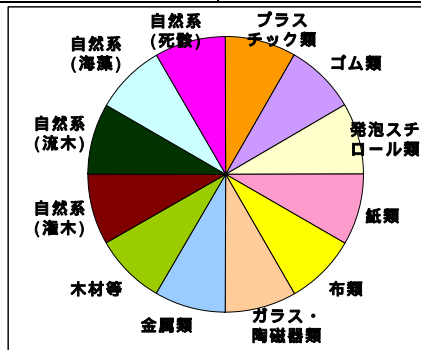


図 1.2-5 重量比率 (地点 3)

	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合計(第2~6回)
集計容量 (全量)						
集計容量 (海藻を除く)						
集計容量 (流木・灌木、海藻を除く)						

凡例

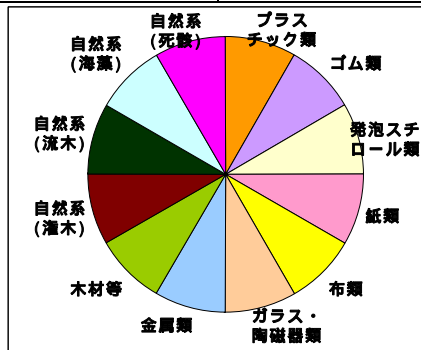


図 1.2-6 容量比率 (地点3)

(4) 地点 4

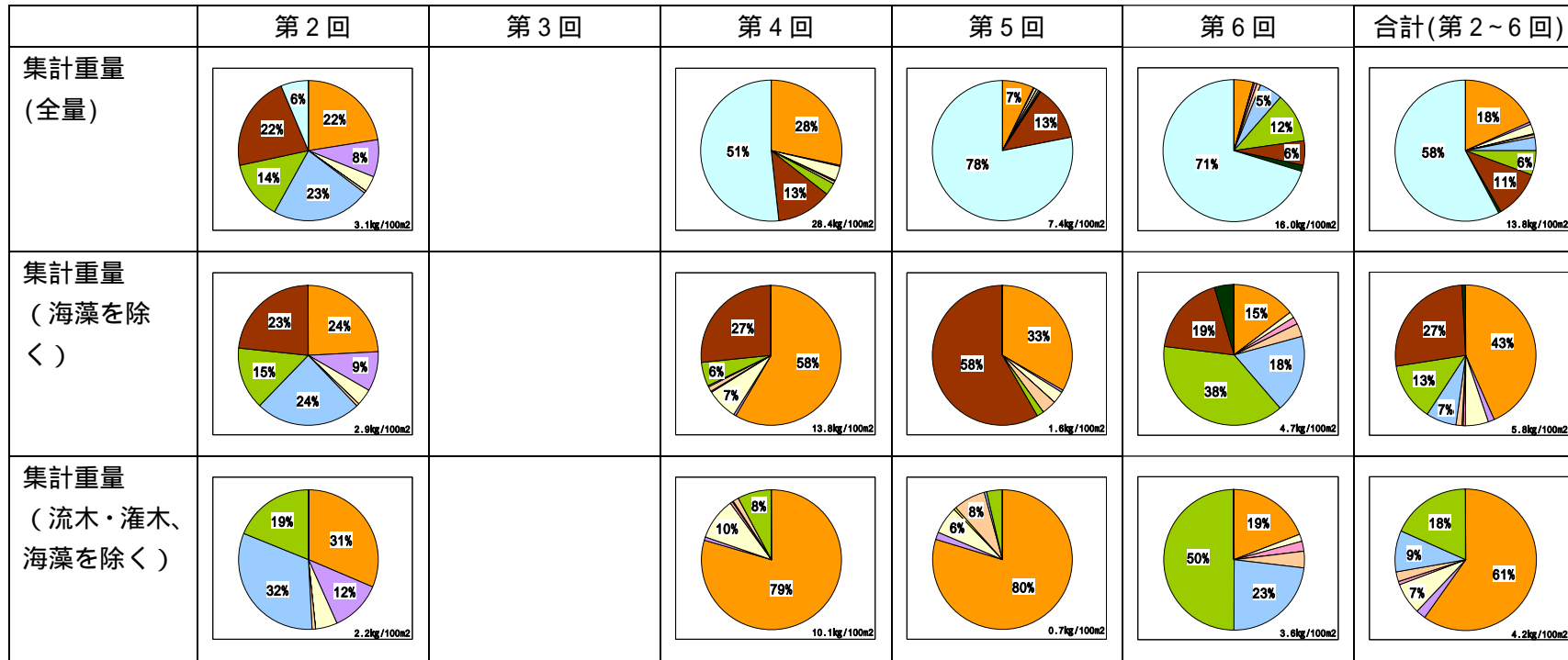
第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとの枠内重量比率および容量比率を図 1.2-7、図 1.2-8 に示す。

当海岸（地点 4）は、第 2 回目（2007 年 12 月）には海藻が少ないが、第 4 回目（2008 年 4 月）、第 5 回目（2008 年 6 月）には海藻が多くなった。

次に、海藻は通常、地元でも回収はされていないため、海藻を除いた漂着ゴミで比較を行った。第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとのうち、海藻を除いた枠内重量比率および容量比率を図 1.2-7、図 1.2-8 に示す。

当海岸（地点 4）は、各回とも重量から見るとプラスチック類や流木・灌木の割合が高くなったが、容量からみると発泡スチロール類の占める割合が高くなっている。

更に、自然系である流木・灌木も大量に漂着する、いわゆる災害時以外は回収されていないため、海藻以外に流木・灌木を除いた漂着ゴミ（人工物）で比較を行った。第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとのうち、人工物の枠内重量比率および容量比率を図 1.2-7、図 1.2-8 に示す。



凡例

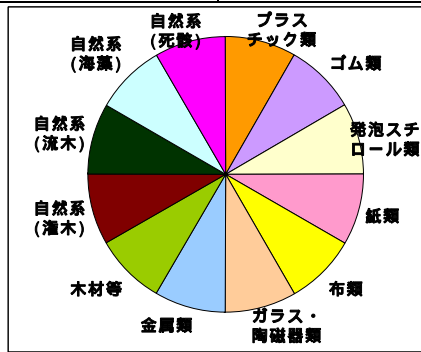


図 1.2-7 重量比率 (地点4)

	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合計(第2~6回)
集計容量 (全量)						
集計容量 (海藻を除く)						
集計容量 (流木・灌木、海藻を除く)						

凡例

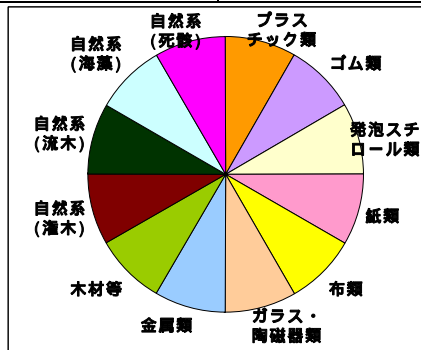


図 1.2-8 容量比率 (地点 4)

(5) 地点 5

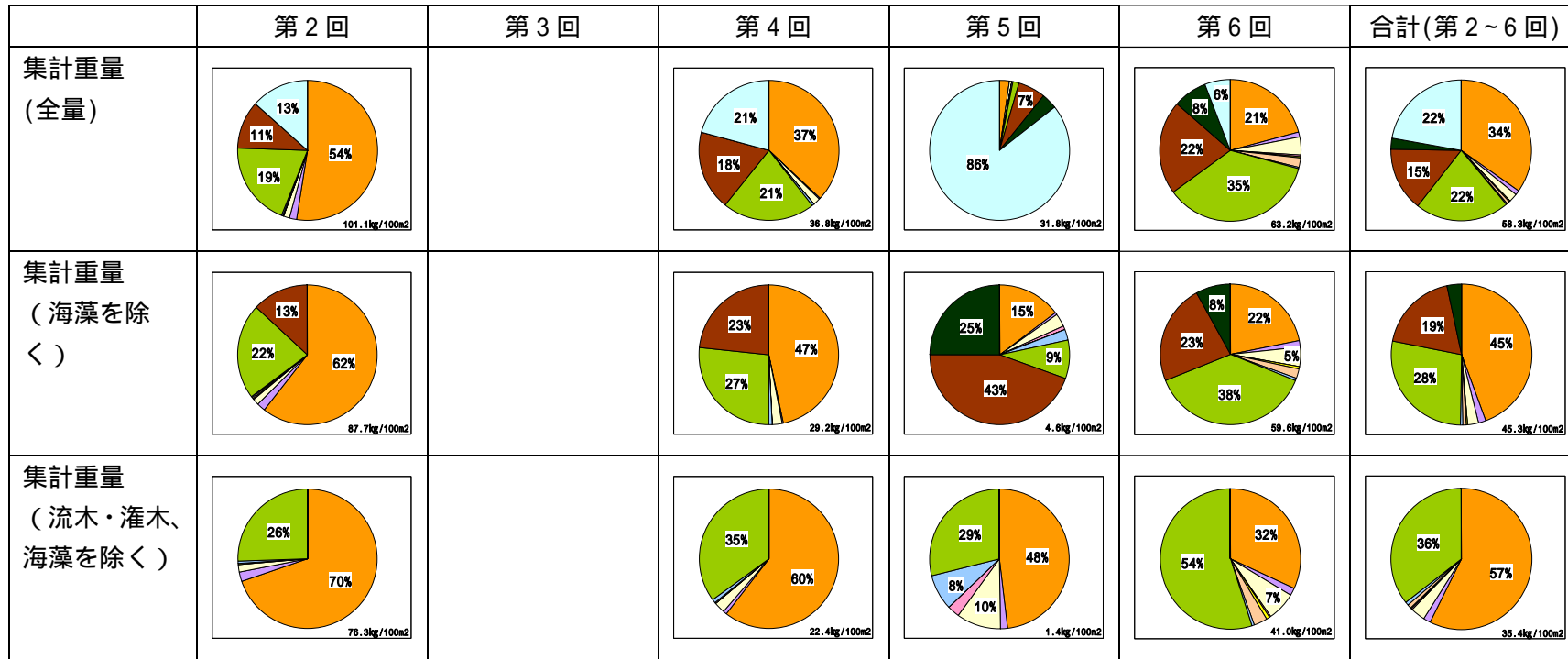
第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとの
枠内重量比率および容量比率を図 1.2-9、図 1.2-10 に示す。

当海岸（地点 5 は、第 2 回目（2007 年 12 月）および第 4 回目（2008 年 4 月）には海藻
が少ないが、第 5 回目（2008 年 6 月）には海藻が多くなった。

次に、海藻は通常、地元でも回収はされていないため、海藻を除いた漂着ゴミで比較を
行った。第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ご
とのうち、海藻を除いた枠内重量比率および容量比率を図 1.2-9、図 1.2-10 に示す。

当海岸（地点 5）は、重量から見て第 2 回目（2007 年 12 月）および第 4 回目（2008 年 4
月）においてプラスチック類の占める割合が高くなったが、第 5 回目（2008 年 6 月）では
流木・灌木の割合が高くなった。また容量から見るとプラスチック類、発泡スチロール類
の割合が高くなった。

更に、自然系である流木・灌木も大量に漂着する、いわゆる災害時以外は回収されてい
ないため、海藻以外に流木・灌木を除いた漂着ゴミ（人工物）で比較を行った。第 2～6
回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとのうち、人工
物の枠内重量比率および容量比率を図 1.2-9、図 1.2-10 に示す。



凡例

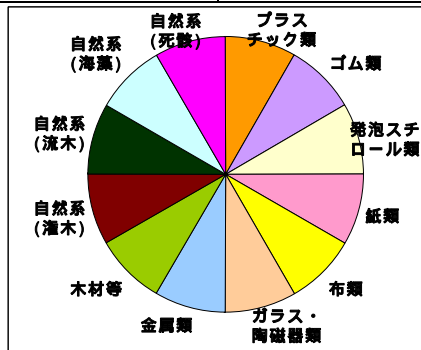


図 1.2-9 重量比率 (地点 5)

	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合計(第2~6回)
集計容量 (全量)						
集計容量 (海藻を除く)						
集計容量 (流木・灌木、 海藻を除く)						

凡例

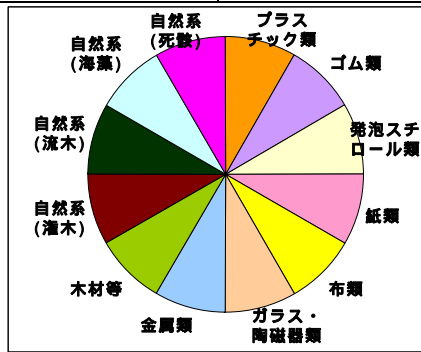


図 1.2-10 容量比率 (地点5)

(6) 地点 6

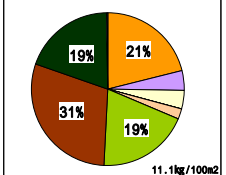
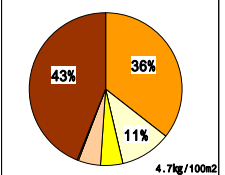
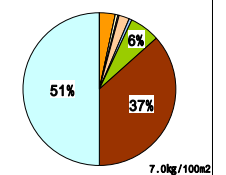
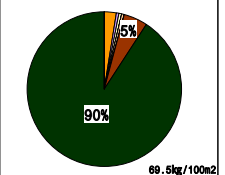
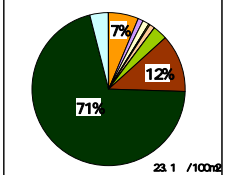
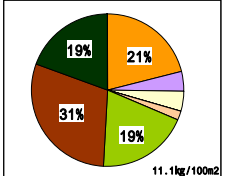
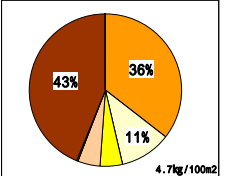
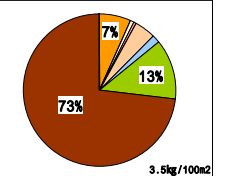
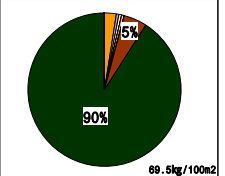
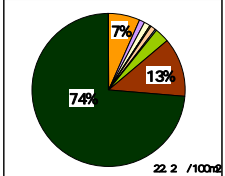
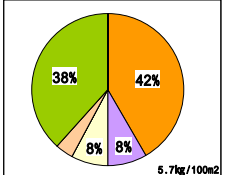
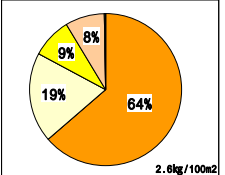
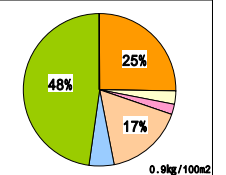
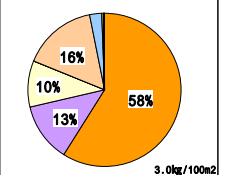
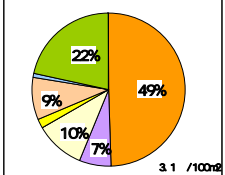
第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとの
枠内重量比率および容量比率を図 1.2-11、図 1.2-12 に示す。

当海岸（地点 6）は、各回とも流木・灌木の割合が高く、特に第 5 回目（2008 年 6 月）
には海藻が多くなった。

次に、海藻は通常、地元でも回収はされていないため、海藻を除いた漂着ゴミで比較を
行った。第 2～6 回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ご
とのうち、海藻を除いた枠内重量比率および容量比率を図 1.2-11、図 1.2-12 に示す。

当海岸（地点 6）は、重量から見ると流木・灌木の割合が高くなったが、容量から見
ると発泡スチロール類の割合も高かった。

更に、自然系である流木・灌木も大量に漂着する、いわゆる災害時以外は回収されてい
ないため、海藻以外に流木・灌木を除いた漂着ゴミ（人工物）で比較を行った。第 2～6
回クリーンアップ調査の共通調査において回収された漂着ゴミの大分類ごとのうち、人工
物の枠内重量比率および容量比率を図 1.2-11、図 1.2-12 に示す。

	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合計(第2~6回)
集計重量 (全量)						
集計重量 (海藻を除く)						
集計重量 (流木・灌木、 海藻を除く)						

凡例

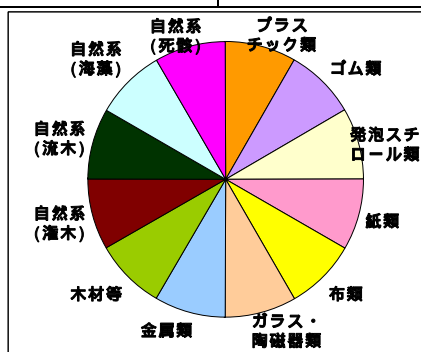
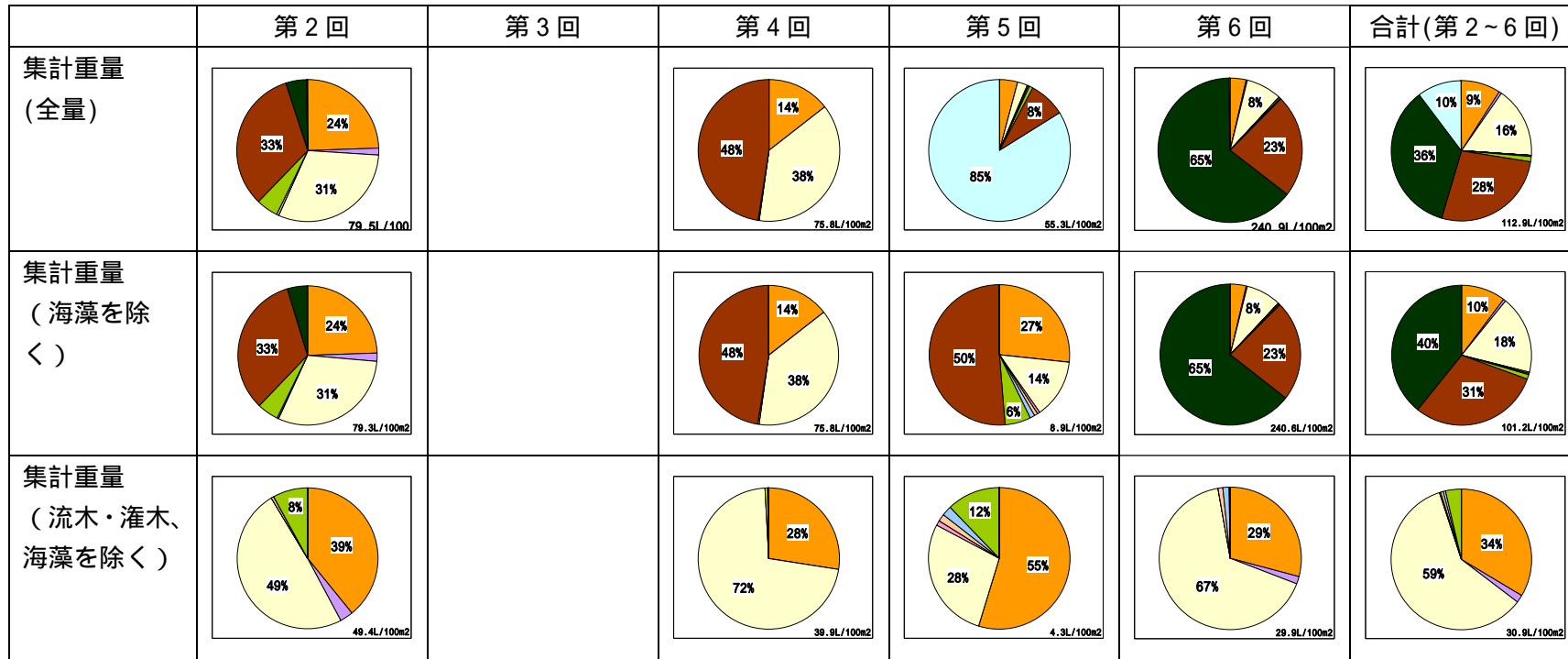


図 1.2-11 重量比率(地点6)



凡例

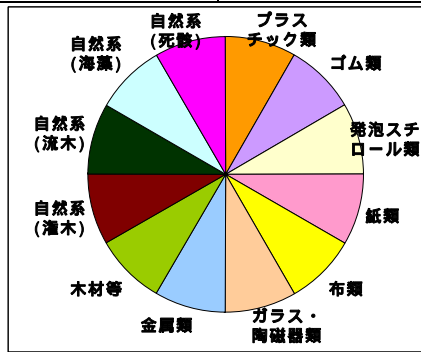


図 1.2-12 容量比率 (地点6)

